

2019年度連結決算 説明資料



2020年4月28日
東邦ガス株式会社

目 次



2019年度決算の概要 3

<参考1> 成長事業投資の状況 11

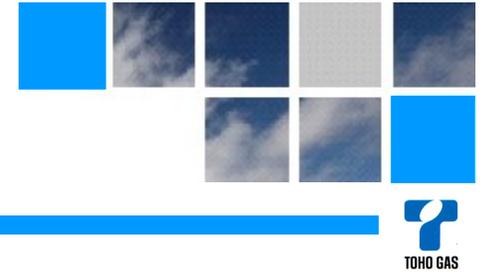
<参考2> トピックス 12

<参考3> 中期経営計画目標の進捗 13

本資料における業績予想及び将来の予測に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は、さまざまな要因により、これらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おき下さい。

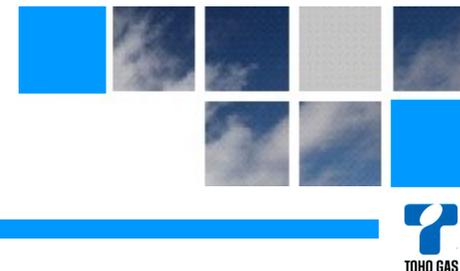
2019年度決算の概要

(1) まとめ



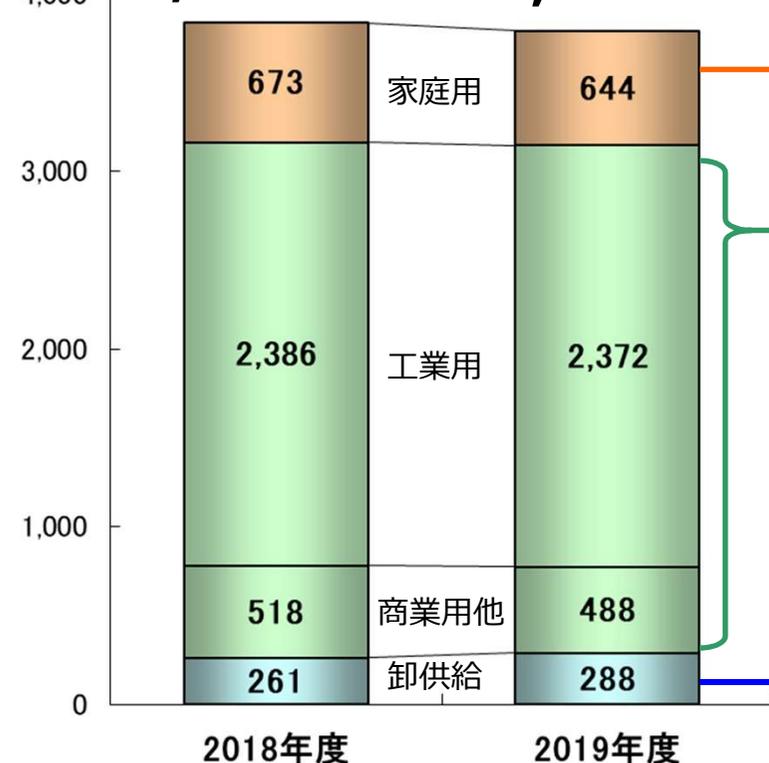
- **ガス販売量は3,792百万m³、対前年1.2%減**
LPG販売量は486千トン、同7.7%増
電気販売量は9.9億kWh、同72.2%増
- **売上高は4,856億円、対前年5.3%増**
経常利益は247億円、同15.3%増

(2) お客さま数・販売量 (2019年度)



取付メーター数 2,486千件 → 2,510千件 (+24千件)

(百万m³) 3,838百万m³ → 3,792百万m³



都市ガス

△46百万m³ △1.2%

家庭用

△29百万m³ △4.3%

暖冬影響などにより減少

業務用

△44百万m³ △1.5%

お客さま先設備の稼働減などにより減少

卸供給

+27百万m³ +10.5%

既存の卸先における需要増

L P G

お客さま数 ※589千件 : +89千件 (+17.8%)
(内、ヤマサ83千件) ※配送受託を含む

販売量 486千トン : +35千トン (+7.7%)
(内、ヤマサ42千トン)

電気

お客さま数 335千件 : +139千件 (+70.4%)

販売量 9.9億kWh : +4.2億kWh (+72.2%)

平均気温 (対前年比較)	上期	下期
	23.2℃ (△0.5)	11.3℃ (+0.8)

(注) 平均気温 2019年度冬期 (対前年) : 12月+0.7℃、1月+2.5℃、2月△0.1℃、3月+0.6℃

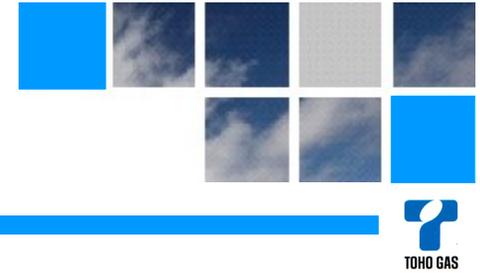


(3) 収支状況 (2019年度)

単位：億円

	2019年度	2018年度	増減	増減率
ガス販売量 (百万m ³)	3,792	3,838	△46	△1.2%
売上高	4,856	4,611	244	5.3%
売上原価	3,300	3,153	147	4.7%
供給販売費 一般管理費	1,341	1,280	61	4.8%
経常利益	247	214	32	15.3%
親会社株主に帰属 する当期純利益	162	148	14	9.8%

(注) 原油価格(全日本CIF) : 2019年度 67.8ドル/バレル、2018年度 72.1ドル/バレル (△4.3ドル)
為替レート(TTM) : 2019年度 108.7円/ドル、2018年度 110.9円/ドル (△2.2円)



(4) 経常利益 増減要因 (2019年度)

◆ 対前年

経常利益 (214億円⇒247億円) + 32億円

■ ガス販売量の影響 \triangle 20億円

■ スライドタイムラグの影響 + 170億円

(2018年度 \triangle 90億円 \Rightarrow 2019年度 + 80億円)

■ 原材料在庫による受払差の影響 \triangle 45億円

■ 固定費の増加等の影響 \triangle 73億円



(5) 経常利益 増減要因 (2019年度)

◆対計画 (3Q決算時)

経常利益 (240億円⇒247億円) **+7億円**

■ガス販売量の影響 **△25億円**

■スライドタイムラグの影響 **+5億円**

(計画 +75億円 ⇒ 実績 +80億円)

■原材料在庫による受払差の影響 **±0億円**

■固定費の減少等の影響 **+27億円**

(6) 財政状況 (2019年度)

単位：億円



	2019年度	2018年度	増減		2019年度	2018年度	増減
総資産	5,647	5,505	141	営業CF	683	326	357
(投資有価証券評価益)	(409)	(477)	(△68)	投資CF	△429	△400	△29
純資産	3,227	3,273	△45	(FCF)	(254)	(△73)	(328)
自己資本比率	57.2%	59.5%	△2.3 ポイント	財務CF	△107	88	△195
有利子負債	1,284	1,272	11	現預金の増減額	147	13	133
				期末現預金残高	339	192	147
ROA	2.9%	2.7%	0.2 ポイント	設備投資	335	346	△10
ROE	5.0%	4.5%	0.5 ポイント	減価償却費	375	360	14



(7) 株主還元

〔方針〕

- 安定配当を基本
- 自己株取得・消却を状況に応じて機動的に実施

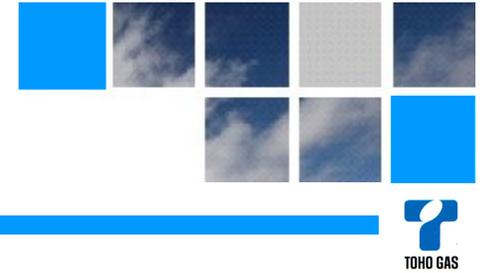
➤ 2019年度は通期で55円

＜参考＞ 株主還元

単位：億円

年度	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
連結当期純利益	85	85	112	190	430	177	180	148	162
年間配当額	46	49	49	51	54	53	55	58	58
〔1株当り配当〕	[42.5円]	[45円]	[45円]	[47.5円]	[50円]	[50円]	[52.5円]	[55円]	[55円]
自己株取得	-	-	-	29	45	29	-	29	-
株主還元 計	46	49	49	81	99	83	55	88	58

※ 2017年10月1日実施の株式併合の影響を考慮した金額



(8) 2020年度見通しについて

- **新型コロナウイルスの感染が世界的に拡大する中、当地域においても大きな影響が及ぶと予想されますが、現時点では先行きが極めて不透明であり、業績予想の算定が困難であることから、2021年3月期の連結業績予想の公表を見送らせていただきます。**
- **今後、新型コロナウイルスの感染拡大が当社事業に及ぼす影響の確認が進み、連結業績予想の算定が可能になった段階で、速やかに公表させていただきます。**



＜参考1＞ 成長事業投資の状況

■ 2019年度実績（207億円）

- ① 株式会社ヤマサの子会社化
- ② 再生可能エネルギーへの取り組み
 - ・ 愛知県武豊町に太陽光発電所を建設、運用開始
 - ・ 再エネファンドへの出資

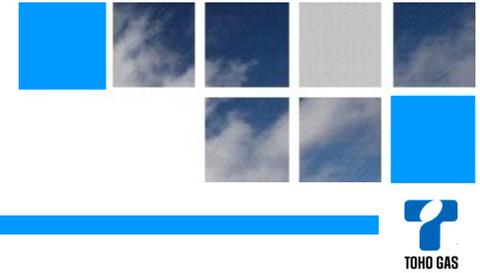
■ 2020年度計画

＜成長投資の考え方＞

経営環境の変化を踏まえ、案件毎の事業性を慎重に吟味の上、必要な投資を実行していく。

＜現時点で意思決定済の案件＞

- ① 再生可能エネルギーの導入拡大
 - ・ 当社工場跡地にて太陽光発電所の稼働開始
- ② 北米ガス火力発電事業への参画
 - ・ 米国ペンシルバニア州バースボローのガス火力発電事業へ出資参画
- ③ みなとアクルスⅡ期開発



<参考2>トピックス

- 岡崎さくら電力の設立（2020年3月）
 - ・エネルギーの地産地消、事業利益の活用による地域振興に貢献
- ホワイト500への選出（2020年3月）
 - ・健康経営優良法人2020（ホワイト500）に認定
- TCFDへの賛同（2020年4月）
 - ・TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）へ賛同





<参考3> 中期経営計画目標の進捗

		2019年度	中計目標 2021年度
天然ガス	お客さま数※1	251万件	255万件
	販売量※2	38.8億m ³	41億m ³
L P G	お客さま数※3	58.9万件	59万件
	販売量	48.6万トン	53.5万トン
電気	お客さま数	33.5万件	30万件
	販売量	9.9億kWh	10億kWh
CO ₂	削減量	14.1万トン	60万トン

※1 取付メーター数 ※2 L N G販売分を含む ※3 配送受託件数を含む

		2019年度	中計目標 2019~21年度
営業キャッシュフロー		683億円	累計1,600億円以上
都市ガス事業投資		277億円	累計800億円以上
成長事業投資		207億円	累計600億円以上
R O A		2.9%	平均 3%以上